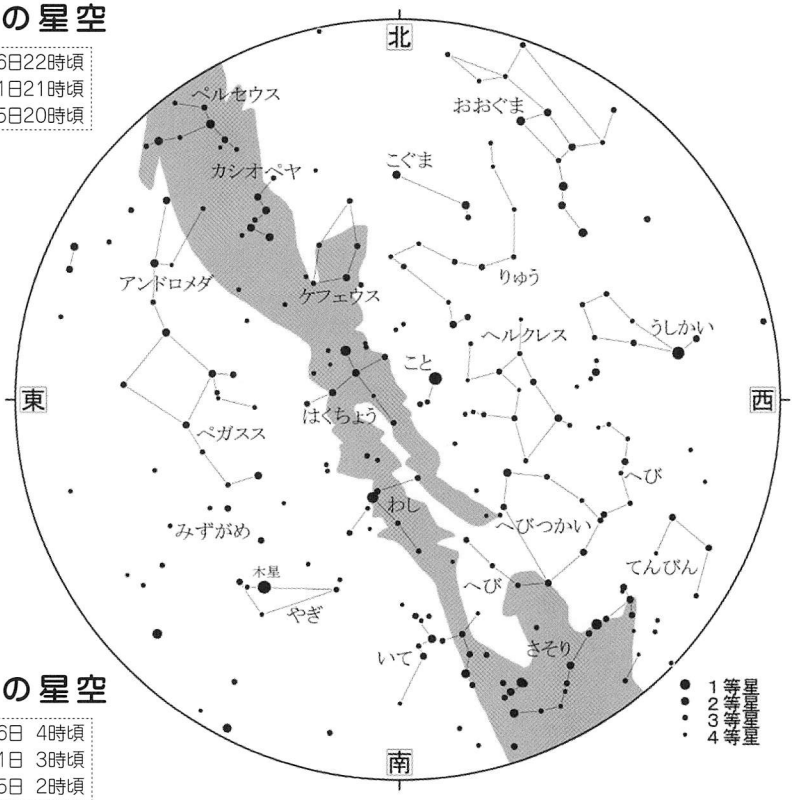
☆星空ガイド　8月16日～9月15日

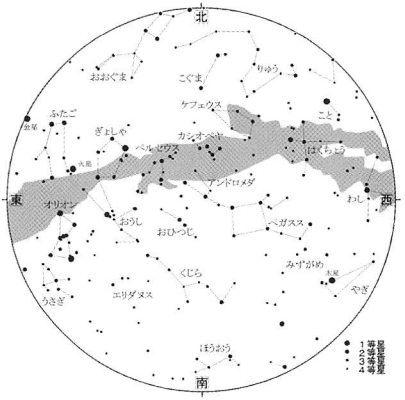
よいの星空

8月16日22時頃
9月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

8月16日　4時頃
9月 1日　3時頃
15日　2時頃



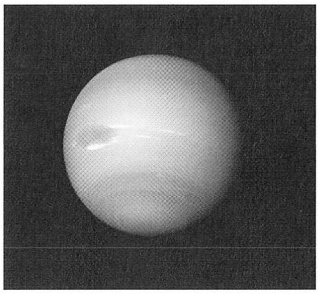
※惑星は2009年9月1日の位置です。

［太陽と月の出入り（大阪）］

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
8	16	日	5:18	18:45	0:04	15:18	25.0
	21	金	5:22	18:39	6:03	18:56	0.7
	26	水	5:26	18:32	11:38	21:42	5.7
9	1	火	5:30	18:25	16:30	1:59	11.7
	6	日	5:34	18:18	18:48	6:48	16.7
	11	金	5:37	18:11	21:57	12:05	21.7
	15	火	5:40	18:05	1:15	15:40	25.7

<海王星が衝>

8月18日には、海王星が衝の位置に来ます。衝というのは、地球から見たときに、ちょうど太陽と反対側の位置に来ることをいいます。ですから、日の入りの時に東の空に現れ、一晩中見えていて、日の出に西の空に沈むということになります。



ボイジャー2号が撮影した海王星(©NASA/JPL)

海王星は、太陽系の中で一番外側を周っている惑星です。海王星が発見されたのは1846年、今から163年前のことです。公転周期は165年なので、もうすぐ発見されてからやっと軌道を一周ということになります。海王星は、天体力学による理論的な予測で発見された惑星です。当時知られていた天王星の位置が予報とひどく異なるため、フランスのルベリエは天王星の外側に未知の惑星があると考えました。その予測を受けて、ドイツのガレが実際に予想された位置の近くで発見しました。

明るさは8等級のため、肉眼では見ることができませんが、空の暗いところなら比較的小型の望遠鏡でも観察することが可能です。望遠鏡の倍率を高くしてみると、青緑色をした円盤状に見えてきます。

<土星の環の消失>

先月8月10日に引き続いて、9月4日にも土星の環の消失という現象が起こります。土星の環は大変薄いために、真横になると大きな望遠鏡を使っても見えなくなってしまいます。先月の場合は、太陽の光がちょうど土星の真横から照らすために、環が見えなくなってしまいました。今回の場合は、地球から見て土星の環をちょうど真横から見る形になるために、環が見えなくなってしまいます。ただし、土星は9月19日に合となり、太陽の方向と重なってしまいます。そのため、実際の観測はかなり困難でしょう。

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
8	18	火	海王星が衝
	19	水	水星と土星の会合/月が最近
	20	木	●新月(19時)
	23	日	処暑
	25	火	水星東方最大離角
	26	水	旧七夕
	27	木	◐上弦(21時)
	31	月	月が最遠

月	日	曜	主な天文現象など
9	1	火	二百十日
	4	金	土星の環が真横になる
	5	土	○満月(1時)
	6	日	変光星しし座Rが極大
	7	月	白露
	8	火	エロスの最接近
	12	土	◑下弦(11時)

江越 航(科学館学芸員)